

入庁後の振り返り

朝倉支部 朝倉県土整備事務所 白石 達也

福岡県に入庁して、もうすぐ2年が経とうとしています。これまでの振り返りとして、入庁から現在に至るまでの出来事や感じたこと等を粗く書き留めたいと思います。

○1年目

辞令交付式にて、朝倉県土整備事務所への配属を告げられます。朝倉では豪雨災害に伴う災害復旧業務が日々進められていることは知っていました。自分がそこでどんな仕事をしていくのだろうか、そしてもう次の日からそんな未知の世界で本格的に業務が始まっていくことを思うと、緊張や不安を感じずにはいられませんでした。

翌日、初めて事務所に出勤し、全職員の前で挨拶をしましたが、緊張で何を話したのか覚えていません。そして災害河川課第二課の一員となった私は、河川災害復旧に係る事業を推し進めるべく業務を進めていくことになります。

私が入庁した年は新型コロナウイルスが流行り出した年であったので、同期との交流の場として期待していた各種研修が延期になったり、いきなり在宅勤務が始まったりと、イレギュラーなスタートとなりましたが、親切な先輩方や上司のおかげで少しずつ職場の雰囲気や仕事にも慣れていきました。

仕事内容としては主に、護岸工事の設計書作成と現場管理等を担当しました。初めて担当した工事は240mの護岸工事で、工事費は途方もなく高額で、こんなにするものなのかと思った記憶があります。上司いわく新採の頃からこれ程の工事を持つことは中々無いとの事だったので、入庁早々貴重な経験を積むことができ意気込むと同時に、何の経験も無い自分に務まるのかと不安な感情もありました。事務処理にしても積算にしても現場の事にしても当然分からないことばかりだったのですが、周りに親切に教えて頂き、業務を進めていくことが出来ました。

○2年目

2年目も、ほぼ1年目の業務の延長で、工事を出して、着手後は地元住民等との調整や、現場での課題を解決しつつ現場を滞りなく進めていくという基本的な流れで業務を行っています。

1年目との違いとして感じるのは、1年目の時と比較すると明らかに自分で判断出来る場



写真 1. 初めて担当した護岸工事（荷原川）

面が増えたという点です。少しずつではありますが、確かな成長を感じているところです。

担当する工事の本数も増えるとともに、処理しなければならない事項も多くなってきました。まだ 2 年足らずの歴ですがその中で経験してきたことを元に、何が技術的に倫理的に適切なのか考えたり自分なりに調べてみたり、上司に相談するなどして業務を進めています。

今後も、色々な経験を通し技術や知識を身につけ、県の土木技術職員として成長していきたいと思います。